

GPN News



グリーン購入ネットワークニュース
第91号 2013年12月



第15回グリーン購入大賞決定!

—エコプロダクツ2013にて表彰式・事例発表会—

- 大賞・環境大臣賞：環境・復興支援シンジケートローン
- 大賞・経済産業大臣賞：株式会社デコス
- 大賞・農林水産大臣賞：株式会社開成

第15回グリーン購入大賞の受賞団体が決定し、大賞・環境大臣賞に環境・復興支援シンジケートローン(NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社日本政策投資銀行)、大賞・経済産業大臣賞に株式会社デコス、大賞・農林水産大臣賞に株式会社開成が選ばれました。12月13日(金)にエコプロダクツ2013の会場、会議棟において、表彰式ならびに受賞団体の取り組み事例の発表会が行われます。

受賞団体一覧

賞	応募部門	受賞団体
大賞	環境大臣賞 ／協働プロジェクト部門	環境・復興支援シンジケートローン (NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社日本政策投資銀行)
	経済産業大臣賞／中小企業部門	株式会社デコス
	農林水産大臣賞／中小企業部門	株式会社開成
	大企業部門	株式会社滋賀銀行
	行政部門	葛巻町(岩手県)
	民間団体・学校部門	生活協同組合コープさっぽろ
優秀賞	大企業部門	中越パルプ工業株式会社
	行政部門	生駒市(奈良県)
	民間団体・学校部門	地球環境関西フォーラム
審査員奨励賞	大企業部門	味の素株式会社
	民間団体・学校部門	水俣特産焼酎づくり実行委員会

index

第15回グリーン購入大賞決定!	1-2	GPNの活動報告	17
グリーン購入全国フォーラム開催のお知らせ	3	Gなとりくみ	18
第15回グリーン購入大賞 受賞団体取り組み事例	4-12	地域ネットワークだより	19
GPN・IGPNの活動より	13-15	新規入会会員紹介	20
「エコ商品ねっと」更新情報・関連情報	16-17	ひとこと地域ネットワークだより	20

大賞・経済産業大臣賞 ー中小企業部門ー



デコスファイバー&デコスドライ工法におけるカーボンマーケティングを通じた グリーンコンシューマーの拡大

株式会社デコスでは、環境負荷の少ない断熱材と施工方法を開発するとともに、CO₂の「見える化」やカーボン・オフセットなどによるカーボンマーケティング、環境啓発活動などを通じて、製品の普及とグリーンコンシューマーの拡大に努めています。

●資源循環、エネルギー消費抑制に貢献する断熱材

デコスが開発した木質繊維系(セルロースファイバー)の断熱材「デコスファイバー」は、原料の80%に新聞紙を使用しています(残りの20%はJIS規格に基づく防火性や撥水性等を確保するための薬剤)。新聞紙は基本的に新聞紙の原料として再生利用されています。古紙配合率は70%~80%であり、同社では新聞紙に再利用されない分を断熱材の原料として有効活用しています。

原料に関しては古紙業者から調達するほか、同社の山口工場がある下関市菊川町において設立したNPO法人「e小日本きくがわ」を通じて収集しています。「e小日本きくがわ」では、地域の子供会、老人クラブ、PTAなどが回収した新聞古紙に対して地域通貨「エコロ」を発行し、地域における資源循環を促進しています。

「デコスファイバー」は、エネルギー消費の抑制や地球温暖化防止という側面からも環境負荷低減に寄与する建材です。1本1本の繊維の中に存在する自然の空気胞に加え、さまざまな太さの繊維が絡み合い空気層を形成することにより、高い断熱性が発揮され、建物の冷暖房に伴う消費エネルギーの低減につながります。

また、製品の製造時に使用するエネルギーは電力のみで、水や熱を必要としないため、他の素材を用いた断熱材に比べエネルギー消費量は格段に少ない水準に抑えられます。

断熱材の製造時のエネルギー使用量比較

分類	素材	エネルギー使用量(kWh/m ³)
天然系断熱材	セルロースファイバー	14
	木質繊維ボード	560
鉱物系断熱材	グラスウール	100~700
	ロックウール	100~700
石油系断熱材	発泡プラスチック	900~1,400

「デコスファイバー」は無垢の木と同様、ホルムアルデヒド、VOC(気発性有機化合物)の放散試験の対象外となっており、F☆☆☆☆以上の安全性が確保されています。このほか、セルロースの吸放湿性による調湿効果、結露防止効果、防カビ・防虫性、吸音性、難燃性など多くの特性を有しており、建物の長寿命化にも寄与します。

●高い断熱性能を実現する施工方法

建物の断熱性能は、断熱材の性能や品質だけでなく、施工方法、施工品質に大きく左右されます。

「デコスファイバー」の施工においては、乾式吹き込み(ブローイング)工法である「デコスドライ工法」が用いられています。この施工方法は、構造材に不織布を張り壁体内に「デコスファイバー」を吹き込むというもので、水や接着剤を必要としないため施工時の環境負荷が少なく、シックハウスを発生させることもありません。

綿状の断熱材を吹き込む方式は、マット状のグラスウールなどの断熱材と異なり、配線・配管・スイッチ・コンセント・筋交い・耐震金物など、壁内部の複雑な構造や手の届かない部分にも隙間なく充填することが可能です。「デコスファイバー」自体が持つ断熱性能と施工方法が相まって高い断熱効果が発揮され、建物の利用におけるエネルギー消費の低減が図られます。

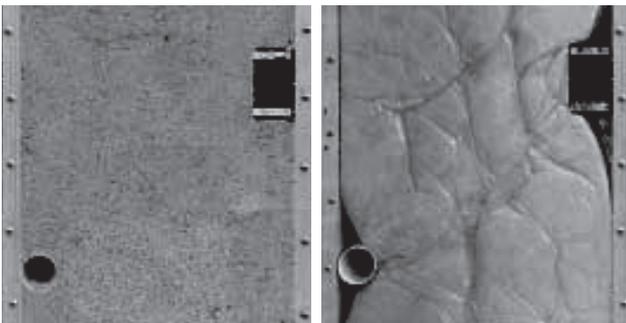
また、この工法は防音性や調湿性、結露防止などの面でも高いパフォーマンスにつながっています。結露防止に関しては、責任施工と施工報告システムの履歴管理による壁体内無結露20年保証制度を導入しています。

同社では、日本セルロースファイバー断熱施工協会の運営を通じて、断熱施工に関する知識や技術に関する教育、施工技術者の認定などを行い、「デコスファイバー」による断熱材施工品質のレベルアップを図っています。

こうした取り組みにより、「デコスファイバー」の出荷量は2000年の221t(277棟)から2012年には2,059t(2,574棟)へと着実な伸びを示しており、公共施設や学校などへの導入も進んでいます。



「デコスドライ工法」による施工の様子



「デコスファイバー」とグラスウールの施工例
左：「デコスファイバー」 右：グラスウール

●CO₂の「見える化」とカーボン・オフセットを実施

資源循環や省エネなどさまざまな側面から環境負荷低減に貢献する「デコスファイバー」は、エコマークの認定を取得しており、グリーン購入法の特定調達品目「公共事業：断熱材」における適合製品となっています。また、建築用断熱材として初めて、山口県認定リサイクル製品に認定されました。

デコスでは、「デコスファイバー」のライフサイクルを通じたCO₂排出量の「見える化」を進めるため、2011年11月に建築用断熱材として日本で初めてカーボンフットプリント(CFP)プログラムの認定を取得しました。再生素材の使用、製造時のエネルギー使用量の削減、モーダルシフト等による輸送時の環境負荷低減、製品使用時の省エネ性能により、製品1袋15kgあたりのライフサイクル全体のCO₂排出量は11.9kg-CO₂となっています。

同社ではパッケージにCFPマークを表示し、製品の環境負荷や環境配慮に対する認知向上を図っています。また、日本セルローズファイバー工業会の加盟企業に対してCFP認定取得に向けたサポートを行うなど、業界全体としてセルローズファイバーの省CO₂性をアピールし、普及につなげていく考えです。

2012年12月には、経済産業省および関係省庁が推進する「カーボンフットプリントを活用したカーボン・オフセッ

ト製品」試行事業において、「デコスファイバー」が建築用断熱材として初めて採択されました。

同製品の算定CFP値と同量のクレジットによりカーボン・オフセットを実施するもとにより、製品のライフサイクルを通じたCO₂排出量が実質的にゼロであることを示すラベル表示がなされます。カーボン・オフセットに使用するクレジットは、林業を営む(株)トライ・ウッド(大分県日田市)による間伐推進プロジェクトから創出されるJ-VERクレジットが利用されています。

●環境啓発活動を推進

デコスでは外部セミナーなどの機会を活用して、「デコスファイバー」の環境特性やCFP、カーボン・オフセットなどの取り組みを紹介し、認知度の向上を図っています。また、工場見学や森林体験バスツアーなどを通じて、木の家づくりの川上から川下までを理解してもらう環境啓発活動を進めています。

山口工場では、関連会社や取引先企業などとの連携による「エコビルドツアー」を毎月実施しています。このプログラムでは、建築分野における環境配慮について認識を深めてもらうことを目的に、新聞紙のリサイクルによる「デコスファイバー」の生産プロセスのほか、工場から排出されたおが屑や端材から木質ペレットを製造する工程、木材のプレカット加工、構造材のトレーサビリティなどについて説明と見学を行っています。

セルローズファイバーは、欧米諸国では断熱材の素材として広がりを見せていますが、日本ではまだわずかな市場シェアにとどまっており、環境負荷低減の観点から利用拡大が期待されます。これからもデコスは、低炭素社会の構築に向け、生産と施工の両方を行う事業者としてネットワークの強みを生かし、カーボンマーケティングを通じて環境負荷の少ない断熱材の普及に注力していく考えです。



「デコスファイバー」のパッケージに表示されたCFPマーク



第15回グリーン購入大賞概要

グリーン購入大賞は、「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体を表彰し、一層の取り組みを奨励するとともに、先進事例の紹介を通じてグリーン購入の普及と質的向上を図ることを目的として、1998年に創設されました。

今年度は、「組織的なグリーン購入の推進」「環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の取り組み」「グリーンコンシューマーの育成・増加への取り組み」を応募テーマとして募集を行うとともに、農林水産大臣賞を新設し、環境に配慮した農林水産物の生産や食品などの生産情報(安全・安心を含む)の提供などにより、消費者のグリーン購入に貢献されている取り組みについても募集対象としました。

地球温暖化防止や生物多様性保全に関する取り組みを含め幅広く募集を行ったところ、全国から40件の応募をいただきました。書類による1次審査(7月25日)、2次審査(8月2日)およびプレゼンテーションによる本審査(9月2日)を経て、11の受賞団体が選ばれました。

今号では、大賞・環境大臣賞、大賞・経済産業大臣賞、大賞・農林水産大臣賞および大賞を受賞された団体の取り組み事例を紹介いたします(P.4~12)。また、優秀賞、審査員奨励賞の受賞団体の取り組み事例については、次号で紹介する予定です。

審査委員長講評

今年度も、独自性のある水準の高い多数の応募をいただきました。特に、地域資源の活用と仕組みづくり・普及啓発など地域に根ざした取り組み、顧客のグリーン購入を促進させる取り組み、金融分野やエネルギー創出に関する取り組みなど、優秀な内容が多く見られました。

大賞・環境大臣賞を受賞された環境・復興支援シンジケートローン(NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社日本政策投資銀行)は、多様なステークホルダーの連携を通じて金融サプライチェーンのグリーン化を進めるとともに、グリーン機器の普及に貢献した点が評価されました。大賞・経済産業大臣賞を受賞された株式会社デコスは、建築物の断熱材の素材や工法の環境配慮、普及・拡大の仕組みの構築やCFPを活用したカーボン・オフセットへの展開など、グリーンコンシューマーの育成に寄与している点が評価されました。大賞・農林水産大臣賞を受賞された株式会社開成は、地域を巻き込んだバイオマス発電の仕組みの構築・運用とともに、個別の農家でも実施可能なバイオマス発電プラントの普及・拡大が評価されました。

これら受賞団体の優れた活動や蓄積された経験を多くの人と共有することで、グリーン購入の取り組みがさらにレベルアップしていくことを期待します。

審査委員長 平尾雅彦(GPN会長・東京大学大学院教授)

エコプロダクツ2013にて第15回グリーン購入大賞表彰式・取り組み事例発表会を開催

12月に開催されるエコプロダクツ2013の会場(東京ビッグサイト・環境コミュニケーションステージ)にて、第15回グリーン購入大賞の表彰式を行います。また、会場棟においてセミナーを開催し、受賞団体の取り組み事例発表会ならびにグリーン購入ガイドラインの最新動向の紹介を行います。さまざまな分野の先進的なグリーン購入取り組み事例について情報を共有でき、セミナー終了後には発表者の方々と対話をする機会も設けておりますので、ぜひご参加ください。

第15回グリーン購入大賞「表彰式」

- 日時：2013年12月13日(金) 10:15~11:10
- 場所：エコプロダクツ2013・環境コミュニケーションステージ(東京ビッグサイト・東6ホール)
- 内容：開会、来賓者紹介、審査委員長(GPN会長・平尾雅彦)講評、賞状授与、記念撮影

セミナー「第15回グリーン購入大賞受賞事例発表会&ガイドラインの最新動向~製品の購入からサービスへ 社会を変えるグリーン購入~」

- 日時：2013年12月13日(金) 14:00~16:00
- 場所：エコプロダクツ2013・東京ビッグサイト会議棟 1階 102会議室
- 内容：14:00~15:35 第15回グリーン購入大賞受賞事例発表会
・受賞団体による事例発表、コーディネーターとの対話(取り組みの苦労話や成功の秘訣の紹介)

- ・発表者：環境・復興支援シンジケートローン(NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社日本政策投資銀行)、株式会社デコス、株式会社開成、株式会社滋賀銀行、葛巻町、生活協同組合コープさっぽろ、中越パルプ工業株式会社、生駒市、地球環境関西フォーラム

15:35~15:50 ガイドラインの最新動向

- ・輸配送(貨物自動車)契約ガイドライン、GPN輸配送シンボルマーク等の説明、取り組み事例紹介、質疑応答

- 展示：会場内に、受賞団体の取り組み事例を紹介するパネルや資料、製品サンプルなどを展示します。発表内容をより具体的にご理解いただける機会ですので、活動の充実に向けたヒントを探しに、ぜひお越しください。